

日本大判寫眞家協会 会報

image circle

イメージサークル

2022年3月号 Vol. 260 令和4年3月5日 発行

Home Page <http://lpa-japan.sakura.ne.jp/>

発行人 田中 明 編集人 高田 幸二

本 部：569-0013 大阪府高槻市野田 3-6-8 (田中 明方)

携帯 080-2538-9826 TEL072-676-0706

事務局：661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町 2 丁目 23-32 (高田幸二方) 携帯 090-8571-6913 TEL&FAX 06-6428-2953



三重県いなべ市 梅林公園 2017年3月19日

2 月度研究会報告

高田 幸二

2月19日(土)大阪写真会館にて2月度の研究会が開催されました。9名の参加者がありました。

先ず、「日本大判写真展」2022の京都本展会場の当番表を配りました。少し修正を加え了解されました。

次に出展作品目録を配りました。これも少し修正を加え了承されました。

当番表と出展作品目録は3月号のイメージサークル配布時に同封します。

「日本大判写真展」2022 実物大プリントチェック

堀内カラーの末永さんが持参した実物大プリントで最終確認を行いました。確認作業はスム

ーズに行われ終了しました。今回も問題なくうまく行きました。デジタル作品が12点ありました。解像度もよく、フィルム作品と何ら変わらないグラデーションの作品に仕上がっていました。

力作が数々見られ、展示会での来場者の反応が楽しみです。



四全倍プリントチェック



力作の解説

永田 徹さんご紹介

高田 幸二

当会には現在写真撮影の指導者が不在でありますので探していましたが、加藤会員のご推薦で「永田 徹さん」が候補に上りました。



永田 徹さん

永田 徹さんは芦屋のハナヤ勘兵衛の撮影部長を務めておられます。13の教室で教えていました、そのうち11はフィルム撮影教室です。デジタルにはない面白味があると解説されました。阪神大震災の折りに、沢山の作品を失われたそうです。ベルビアのフィルムはコントラストが良いとのこと。今後、永田さんにお世話になることになると思います。

3 月度の予定

待ちに待った「日本大判写真展」2022 がもうすぐ開催されます。

『日本大判写真展』2022

第28回 『会員展』自由作品

第19回 『会友展』自由作品

課題作品『富士および富士と呼ばれる山』

第6回 モノクロ作品・自家処理作品

会場：京都市京セラ美術館本館／南館 2F

会期：令和4年3月15日（火）～20日（日）

10：00～18：00

※初日は14：00開場

※最終日は16：00まで

当番の方はよろしくお願いいたします。

◆3月度は展示会がありますので、研究会はありません。

◆「日本大判写真展」2023の課題が決定しました。「花のある景色」です。

◆出展作品の返送について

出展者への作品の返送は3月26日（土）以降となります。本年度も全倍作品の返送はヤマト運輸を利用します。しかしヤマト運輸の方針で本年度より作品には保険を掛けることが出来ません。あらかじめご了承ください。

四全倍の作品は佐川急便を利用します。